

## 旧小机領三十三観音巡りパート⑤ 下見

本番：10月5日（水）旧小机領三十三観音巡りパート⑤

集合：横浜市営地下鉄ブルーライン北新横浜駅 10:00

コース：北新横浜駅→⑯第十六番札所専念寺→折本町西原公園→⑰第十七番札所龍運寺→都筑スポーツセンター→⑱第十八番札所観音寺→東方公園→茅ヶ崎公園→⑲-1第十九番札所寿福寺・観音堂→センター南駅  
23,000歩 15km（伊藤自宅含め28,000歩）

参加者：平山L・神谷・森山・伊藤 4名

天候：曇りのち雨

趣旨：本番10月5日（水）伊藤所要有、参加出来ないの下見に加えて戴きました。

結果：主目的旧小机領三十三観音⑯～⑱の寺を繋ぐ間、平山L特有の市街地を出来る丈避けて、裏道、郷道、公園、遊歩道を歩きましたが、森山さんも絶賛する程のコースでした。又横浜市都筑区はこんなに里山高台や果樹園があることを学習しました。天気予報通り午後雨がぱらつき15時過ぎひどくなり、最後の⑲寿福寺は観音堂だけ見て、本堂は場所が判らず今回諦めました。本番ではセンター南駅のすぐ近くでするので行けるとおもいます。下見ですが参考までにいつものポケ防止用日記帳「メモと写真」をまとめたので、コースの写真を見られて、本番多数の参加をお願い致します。

【地図】本番では平山Lから詳しい地図が配布されます。大体の位置関係を見て下さい。



「横浜市営地下鉄ブルーライン北新横浜駅」駅で左から神谷・平山L・森山3人既にお待ち



溝の口駅から東急田園都市線準急に乗りあざみ野で乗り換えるべきところ、車中今日のコースを予習していたら乗り越し青葉台まで行き引き返し。9:36到着予定が9:45になりました。最後でした。9:50スタート P1

野菜や果樹園の街、早速色着いたキュウイ 正面に見えるのが専念寺です。長い参道。



【⑩亀甲山 専念寺】浄土宗 聖漢音 パート④で5/17(水)最終立ち寄りクールダウンしたところ、10/5(水)本番でも、ここで説明とストレッチを予定。花のお寺です。10:00到着、駅から10分。



(HPより)

亀甲山と号します。専念寺は、村民良太郎の先祖清太郎が慶長6年(1601)開基となり、耕公(慶長17年1612年寂)が開山したといひます。

除地、三段五畝十歩、村の中央にあり、浄土宗、橘樹郡小机村泉谷寺末、亀甲山と稱す、當寺も村内の字亀山と云所にありしを、此所へひきしことは前にもいへり、客殿七間に六間半異向なり、本地木の立像にて長八寸許、慈覺大師の作なりと云り、開山は耕公慶長十年七月十四日寂す、村民良太郎と云者の先祖に清太郎と云あり、彼が慶長六年開基せしなりと云。観音堂。門を入て左にあり、三間四方、正観音は木の立像長一尺餘。稲荷社。

(新編武蔵風土記稿より)

庭作りが行き届いている

早速参拝

今回もお花の大歓迎です。彼岸花はお寺にピッタリ



前回5月17日(水)パート④で最終ストレッチ。お花の写真沢山撮りました。

10月5日(水)本番もここでストレッチとコース説明の予定だそうです。

ザクロ？緑の葉に目立ちます こちらの彼岸花も緑と曲がり木に映え鮮やか 近くの公園保育園児たちの遊び



可愛い！  
これからの日本を  
背負うてくれ！  
頑張れ！

神奈川県立新羽高校 地図にない首都高速神奈川7号横浜北線に向う新道、鶴見川堤防道路に出られました。



鶴見川に江川が合流する場所で中州が見渡せる最高の場所です。当初の予定外でしたが4人共感激、是非追加。



7号横浜線が第3京浜港北ICに合流する工事が進行中です。その近くでは、物流倉庫↑が立ち並ぶ。



江川を渡ると工場地帯

「坂崎彫刻工業（株）」

ここからは里山畑道、緩やかな坂道に登る



緑産業道路陸橋を渡る



「沢水山 真照寺」に立ち寄り



真言宗大谷派 1563年開基



本堂内（阿弥陀如来）解放されており、立派でした

枝ぶりの良い百日紅



【⑩幡森山 龍雲寺】浄土宗 聖漢音 幡弘治元年（1550）に創建、養蓮社順譽（慶長元年 1597年寂）が開山



庭がきれい、平山さん御朱印もらう

閻魔大王・葬頭河婆像の堂は閉鎖中

変わった石像 骨体美？



昼食12:00~12:25 9,000歩。蚊がおりトイレも今一。お寺より蚊よけの塗薬を戴きました。

本番では次のスポーツセンターにする。トイレも綺麗で、1F 2F椅子の使用と昼食の許可をもらう。

トイレの履物にご注意!

ここから坂道を下り「野田幼稚園」の傍を通り、「あいさつ通り緑道」を歩く。



「常念寺川せせらぎ遊歩道」

小さな滝と水車もある



【光照山 宗忠寺】 龍香院 浄土宗

コースには入っていないが通り道で立ち寄る



説得力のある石僧「助けて〜」

【18圓国山 観音寺】 真言宗 聖観音 枝ぶりの良い樺をくぐり山門へ



参拝は必ずしましょう！

蛙の石像



昔、孫娘が神隠しに逢った老婆が「必ず帰る」よう「蛙」の絵を奉納したら娘が帰った。左の蛙の石増の頭を撫ぜるとなくしたものがカエルという。

僧安然が貞観年間（624-649）に開基したといひます。準西国稲毛三十三観世音霊場 13番です。

富士山のお清め浄水場



ここに看板有り 直ぐ近くの「高貴山 福聚院正覚寺」に立ち寄り 文禄二年 (1593年) 僧快栄上人の開基



13:21 「八所谷戸」交差点13:44 「45号中原街道」を渡る 「横浜環境循都築工場の青白煙突」が



見える  
「茅ヶ崎公園」  
で休憩  
18,000歩



「平台中央」信号を渡る。



「茅ヶ崎台小学校」前を通る



後半に入り、少々疲れてきました。飴でも舐めて、雨が降らない内にもう少し頑張りましょう！

「カリン」の実がなっている植木歩道14:25「大原みねみち公園」池のある遊歩道を歩く。錦鯉もいるが水



は汚いが、歩きは気持ち良く最高。

この木何の木、気になる木 1つ拾う。

ブルーライン

右246号



「茅ヶ崎公園周辺マップ」



ブルーライン



茅ヶ崎公園遊歩道、涼しい。14:53小雨がばらつきだした。通りかかった「天台宗長窪正覚寺」で雨宿り



茅ヶ崎公園は港北ニュータウン南部を辿る緑道「ささぶねのみち」と「せきれいのみち」の接点としても機能している。公園南側の外縁部を辿る「ささぶねのみち」を西へ辿ると「萌黄橋」で「歴博通り」を越えて、西に隣接する大原みねみち公園に近い。公園南東側から「せきれいのみち」を東へ辿れば、住宅街の中を抜けて横浜市営地下鉄「仲町台」駅近くへ至り、せせらぎ公園へと辿ることができる。併せて散策を楽しむのがお薦めだ。

【⑱寿福寺・観音堂】 15:00 本堂は別場所。無人で自動で電灯がつく。銀杏の実が沢山落ちてきている。



寿福寺は、清和源氏多田行綱の子智空が開山となり、真言宗長福寺と号して創建したといひます。その後衰微したものの空誓（寛永2年1625年寂）が中興、惇信院殿の御幼名を避けるため享保元年（1716年）壽福寺と改めたといひます。

下見の終わり、小雨が降っており電灯がつき、反射するので片隅で証拠写真を撮りました。



この後地元の人に本堂を聴きましたが相当離れているようで、雨も降り始めたので諦めることにしました。



近くの「茅ヶ崎城址公園」に行き、ストレッチ場を見つけ確認。

15:15 横浜市営地下鉄ブルーライン「南センター駅」に到着。

平山L「歩数は23,000歩 15kmとします。」結構歩きました。

雨がひどくなり、森山さんの案内でアフター会場に向かいます。

16:45 お馴染み「はなの舞」16:00から開店ですが、交渉結果OK。

平山Lのご苦労会と、本番のコース設定話し合い、今日でOKの確認をやりました。

「アフターin はなの舞」「平山Lご苦労様でした。乾杯！今日のコースは最高でした」料理は森山さんにお任せ。



本番10月5日（水）の予約も入れてあります。



途中拾った実 左栗と右は？



皮は3分割、中身は栗と同じ、山茶花の実？



追記：⑱寿福寺慈眼陰の場所



編集後記：平山さんの下見に同伴して、改めてコースづくりに苦労されているか再確認出来ました。裏道、郷道、緑道等の入口交差点地図を数10枚コピーされ、磁石で方角を確認して歩かれる。感服しました。お寺で御朱印をもらえるので住職と会話出来るのもすばらしい。十九番札所「寿福寺」は女性の美人住職さんだそうです。残念でした。皆さん本番期待して下さい。いつもの拙いボケ防止用日記帳「メモと写真」です。誤記や失礼な記述があるかもしれませんが悪しからずお許しの程。説明文はHP他から引用しました。